

校長先生の日記④

Shinano オリンピックが開催されました

7年生を中心に、行う競技や内容、練習計画、当日の進行などすべてを生徒主体で考えるShinanoオリンピックが行われました。当日はすべての競技を「縦割り班」で行います。来入児と8年生は手をつないで障害を越える競走に挑戦し、ゴールすると手作りのメダルをかけてもらって嬉しそうでした。1年生と9年生の玉入れでは、競技そっ



ちのけで、9年生の背中におんぶしてもらい、甘える1年生の姿が見られました。おんぶされる9年生は嫌がるでもなく、おんぶしながら必死で籠に玉を入れていました。これが信濃小中学校の大切な育ちです。異年齢の子どもたちが交流することで、小さな子に優しく接し、自分たちの仲間として大切にしていける心が育ちます。8年後おんぶされていた1年生は、きっと1年生を同じようにおんぶしていることと思います。人に優しくする心は、このような体験から育まれていきます。9年間一緒に生活する信濃小中学校だからこそ、実現する大切な育ちです。

種目には、来賓、保護者、職員の参加もあり、つなひき、リレーに全力で参加しました。教育長さん、町長さんも参加してくださり、大いに盛り上がりました。こんなふうに地域と交流できるのも、信濃署中学校のよさです。ご参加いただいた、ご来賓のみなさま、保護者のみなさまありがとうございました。大成功のShinanoオリンピックでした。



かわいい芽と

出しました！

「校長先生！今日ね朝顔のたねをまいたんだよ！」と嬉しそうに報告してくれた1年生。今日植木鉢をのぞいてみると、かわいい芽がたくさん出ていました。

きっと子どもたちは大喜びだったろうなと思わず笑みがこぼれてしまいました。「あーあ。どんな顔だったかな？どんな言葉で表現したろうな？見たかったなー」とチャンス逃して残念な気持ちにもなりました。2年生も小さな小さな「ミニトマト」の種をまきました。これもまたかわいい芽が出ていました。植物を育てるのは本当に楽しみです。日に日に成長していく植物たち。それを見て芽を輝かせる子どもたち。これからたくさんの感動に出会えます。そんな子どもたちの発見や輝く笑顔を、今度は見逃さないように見に行きたいと思えます。

実は、私たち職員も栽培活動に取り組んでいます。庁務の先生のご指導の下、信濃町特産のとうもろこしやじゃがいも、ネギなどを育てています。先日まいたとうもろこしは、残念ながら発芽をほとんどしていませんでした。原因はわかりません。じゃがいもは見事に葉を繁らせ始めています。子どもたち同様、成長に芽を輝かせながら、栽培活動に取り組みたいです。

